

夜間議会(一般質問)

3月8日に夜間議会を開催しました。
4名の議員から4問の一般質問があり、町の対応や考
え方をたずねました。
質問・答弁を抜粋・要約して掲載しております。

町事業の成果と検証の周知を

円滑な情報共有に取り組む

【小鹿昭義議員】

町民から、町が実施した事業について、事業の内容や成果を、詳細に周知してほしいとの意見がある。

①なぜ、様々な公設民営的団体に人的・補助金的支援を行っているのか。

②福島町がんばる地元企業応援条例等についても経済効果などの程度あったのかなど、事業の経過・成果について町民と十分に情報共有出来ていないと感じるがどうか。
また、今後の住民周知について、どう対応していくか伺う。



小鹿 昭義 議員

【鳴海清春町長】

町が行っている様々な公設民営的団体への支援については、地方自治法の規定に基づき議会の承認のもと交付している。

福島町がんばる地元企業応援条例による経済効果等については、施設投資により事業者の生産拡大や作業の効率化が図られ事業継続意欲を促す誘因になったものと検証している。

町が実施する各種事業の検証等については「事務・事業行政評価」等での公表のほか、例年開催している町政懇談会の場でも報告している。

町民と町が情報を共有することは、まちづくりに欠かすことができない重要な要素であると認識しており、今後も町民にわかりやすい情報提供に努め、円滑に情報共有が図られるよう取り組む。

ふるさと暮らし応援条例等の見直しを

受給要件を拡大(改正)する

【川村明雄議員】

ふるさと暮らしを考える人を一人でも増やし、未来豊かな町に転換するため、住みやすい対策への変革を提言し、考えを伺う。

①定住促進住宅等奨励事業のこれまでの実績は

②条例に定める基準(購入金額500万円以上)は現在の土地等売買実態に合っていると考えるか

③補助対象の拡大(低額取得リフォーム等)を行ってはどうか

④空き家解体助成事業・ふるさと暮らし応援条例の抜本的改正が必要ではないか



川村 明雄 議員

【鳴海清春町長】

①令和2年度までに23名に交付(新築19名、中古住宅購入4名)

②町内の市場価格から妥当な結果から、現在の基準が適正と判断している。

③リフォーム費用への支援については、定住目的以外の棲み分けが必要で、新たな助成制度の構築が必要となる。

④空家等除却補助金は建て替え除却、売買目的での解体を対象としていないため見直しはしないが、ふるさと暮らし応援条例については、既存住宅の建て替えについても対象となる改正を行う。

人口減少が続く町民において定住を促進するためには住まいの確保が重要と認識しており、条例に加え福島町住生活基本計画を策定し、住宅環境の充実を図り、各世代による定住促進に取り組む。

ワクチン接種体制の構築状況は 情報が少なく対応に苦慮

【木村 隆議員】

新型コロナウイルスワクチンの町における接種体制について伺う。

- ① 医療従事者等の接種場所・時期
- ② 高齢者の接種率の見込み
- ③ 接種開始時期・接種券の配布時期は
- ④ 接種方法は
- ⑤ 集団接種とした場合の会場・日程は
- ⑥ 接種の予約方法は
- ⑦ 在宅療養者等への接種対応
- ⑧ 副反応への対応
- ⑨ ワクチン接種についての積極的な情報発信に対する見解



木村 隆 議員

【鳴海清春町長】

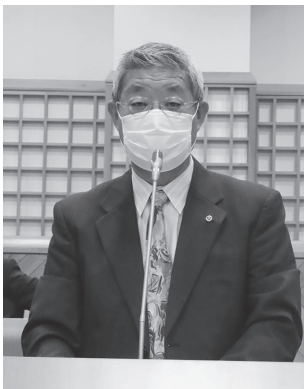
- ① 3月1日時点でどちらも未定
- ② 70%
- ③ 現時点で想定は困難だが接種券は3月末までに配布予定
- ④ 集団接種と個別接種の併用
- ⑤ 総合体育館において平日以外で実施
- ⑥ 検討中だがインターネットでの対応はしない方向
- ⑦ かかりつけ医による在宅等での対応を想定
- ⑧ 接種場所以外での対応は医療機関若しくは救急
- ⑨ 町広報やホームページ、防災無線を活用した情報発信を行っていくが、感染者への影響も考慮し慎重に周知する。

国道沿いの除排雪の在り方を問う 改善に向けた要望を継続していく

【平沼昌平議員】

国道の除排雪の在り方について国道沿線地区の方々から毎年要望を聞くが、住民も高齢化し日々の除雪作業に対して苦情も多くなってきたことから、生活路の確保や交通安全の観点から町内業者を専属に配置するなど、町として独自に対応する事も検討する必要があると考えるがどうか。

吉岡地区の流雪溝の投雪口の在り方についても同様の観点から検討が必要と考えるが、町の考えを伺う。



平沼 昌平 議員

【鳴海清春町長】

国道の除排雪については毎年、意見・要望しているが、限られた予算と時間の制約の中で現行の除排雪方法を大きく変更することは困難であるとの回答を受けているが、高齢化により年々国道周辺の町民の除排雪作業が厳しくなってきたことから、引き続き、国・道に対して改善に向けた要望を継続していく。

町独自の対応については、私も町民から意見を聞いており同様の考えを持っているが、国の管轄権の問題や、町の除排雪費用の状況から単独での予算措置に関しては困難と考えている。

吉岡地区の流雪溝の在り方については、整備当時と状況が大きく変化しており、町内会等と意見交換する場を設けて、新たな方向性を早期に確立したい。